

七飯町立七重小学校

指定年度：H30～
児童数：519名

1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

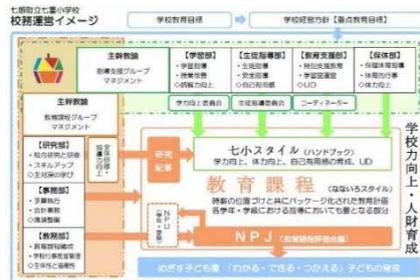
①教育理念や経営方針の浸透

【教職員へ】→校長の「基本的な考え方」の周知と「言行一致」の姿勢

- ・「めざす状態のイメージ」の共有→「大事にすること、しないこと」の選別・整理
- ・指導支援の成果→子どもの変容～「子どもの姿で学校が語れる」の確認
- ・キーワードで浸透強化→「七重で学び、七飯で育つ」「安全・安心・安定」「持続可能な七小文化」「いきわたらせる」「低刺激な学校」「感化・做化・薫化」
- ・「働き甲斐のある職場」→「時間対効果」「質の向上のため、増やすより減らす」

【保護者・地域へ】→「子どもを真ん中」に願いを共有する「相互信頼感」の醸成

- ・学校への信頼→「情報発信」「事前説明」「即時対応」「共感」「教職員の言行一致」
- ・多様な方法で豊富に学校情報を提供及び公開
※情報があることによる安心感
※学校日より、学年・学級日より、HP、授業参観、個人面談などを通じた情報提供及び公開
- ・「子どもを真ん中にした」相談及び熟議
※当事者意識、役割と責任の分担
- ・保護者との教育相談、学校運営協議会及びPTA
※三者協議会（学校、PTA、地域子ども会）による参加型の「熟議」



【校務運営イメージ】

②協働意識の高揚→「目に見えるところを変える」「変わり様を実感する」

- ・月1回開催する教育課程推進委員会（学年代表、分掌代表、主幹教諭）による、ショートスパンPDCAの強化及び課題解決を先送り、先延ばししない即時改善の継続
- ・職員室リニューアル（環境改善）による、「同僚性と協働性」の醸成及び情報共有、対話活性、組織的対応、業務効率化の促進
- ・組織体制リニューアルによる、学校運営の対応力強化と円滑化
主幹教諭2人体制、支援部創設による「安全・安心・安定」の信頼される学校の実現

③コミュニケーション→タイムリーな時を見逃さず、場所を選ばずに「ひとこと」

- ・「見る」こと＊授業観察、「認める」こと＊評価、「質問する」こと＊コーチング、「語らせる」こと＊共感的受け止め



【職員室の様子（4月現在）】

④人材育成→「組織力・チーム力」を土台とした人的環境による育て

- ・7人の初任段階教員と指導教諭がチームとなり、年間を通じて学び合う「スタジオN」の活動→シャドーイング、授業参観、先輩教師からのレクチャー、ワークショップ
- ・学年主任、分掌主任の任用による、経験年数に応じた経営参画の動機付けなど、適所適材を意識した学校改善の推進



【「スタジオN」の活動の様子】

2 取組の成果と課題（□：成果 ■：課題）

- 組織改編、職員室リニューアル、ICTの積極的な活用など、「見えるところを変える」ことにより、業務の効率化・円滑化が進み、働く環境が改善された。
- 職員評価において、「安全・安心・安定を最優先とした学校運営が行われている」及び「【学校力】指定3年間の実践成果は、本校の持続可能なシステムとして定着している」と回答した職員の割合が100%となるなど、学校改善の取組の成果を職員が実感することができた。
※学校運営に係る全14の質問項目に対して肯定的な回答をした職員の割合の平均は98%である。さらなる改善充実の必要性を認識しながらも、包括的な学校改善の取組に確かな手応えを感じている。
- 教育ビジョン実現のためには、授業力を向上させる必要があることから、全教員が、常に一定水準以上の授業ができる力量を身に付けるための校内システムを構築する必要がある。